創造表現コース二年次研修
（北陸方面　福井・金沢）

70 回生（現３年）
2018 年３月２７日（火）～３０日（金）

毎年、創造表現コースの行事として美術研修を実施しています。これまでは、１年次研修として３月末に岡山・尾道方面へ、また４月初めに３年次研修として関西方面への研修と２回の研修を行なっていました。

昨年度からは３月末に２年次の研修として金沢・北陸方面で研修を行なっています。

今回３泊４日の日程で福井・石川県にて２年次研修を行いました。研修では寺院建築を含む仏教美術の鑑賞、美術館の見学のほか、各種工芸体験、景勝地のスケッチを実施しています。

◆３月 27 日　火曜日（1 日目）◆

出発式　→　新大阪からサンダーバードで　→

永平寺 (見学・スケッチ)

サンダーバードで福井駅に到着、貸し切りバスで一路永平寺へ。
永平寺では、お坊さんからの施設の説明がありその後全体を見学して回りました。　今から約 770 年前の寛元２年（1244 年）に建てられた建物でとても趣がありました。この時はまだ雪が残っていて、ひんやりとした空間を感じながらスケッチすることができました。

三国観光ホテル（座学研修）

初日の宿は、部屋の窓から日本海の夕日を堪能できる絶好の立地条件でした。

食事後座学として永平寺にまつわる話や、明日見学する東尋坊や伝統工芸について学びました。後半の研修は、永平寺のスケッチを並べて観賞会を行いました。

夜の研修会

夕食

朝食（バイキング）

◆３月 28 日　水曜日（2 日目）◆

- 国定公園　越前海岸 -　東尋坊 (見学・スケッチ)

２日目は朝９時に、バスを使って断崖絶壁が続く景勝地東尋坊に到着しました。着いた先には見渡す限り一面の海が広がっていました。

そして世界でも３箇所にしか見られないという輝石安山岩の柱状節理の断崖絶壁が続いています。迫力のあるこの崖は水面から２５メートルの高さがあるそうです。天然物保護のため崖には柵などを設けることができないので、岩の上を移動する際にはとてもハラハラしました。

東尋坊ではオプショナルツアーとして、クルージングツアー（乗船券代は自費）と雄島までのウォーキングツアーを実施しました。

スケッチ風景

崖の下に船着き場があり、そこから乗船します。３０分のクルージングで遊覧船からでしか見ることのできないライオン岩やローソク岩、雄島を巡りました。海から断崖絶壁を間近で見ることができ、崖の上からとはまた違う岩の見方を感じられました。

クルージングコース

雄島まで片道３０分の遊歩道を歩きながら、断崖を様々な角度から見学しながら歩きました。雄島には、杜の中にさびれた神社があり崖の上に海に向かって鳥居が立っています。海から神様がやってくるのでしょうか。人が鳥居をくぐって柵を超えると海に落ちます。　そのほか柱状節理や板状節理の岩を見てきましたが、往復１時間以上歩いていたためスケッチは出来ませんでした。

雄島ウォーキングコース

石川県　ゆのくにの森伝統工芸村　(工芸体験・見学・スケッチ)

東尋坊の次に訪れたのは、ゆのくにの森伝統工芸村で、ここでは各種の工芸が体験できる施設が備わっており、５０以上の体験メニューが用意されています。ここでの体験は生徒が自由に選択して選びました。特に吹きガラスや漆芸体験は学校では体験できないものなのでとても貴重な時間となりました。費用は各自のおこづかいから出費しています。

昼食（ゆのくにの森漁師の館）

金箔張りのソフトクリーム

金箔貼

越前竹工芸

ガラス工芸（サンドブラスト）

輪島塗

吹きガラス

オプショナルツアー（那谷寺（なたでら）スケッチ）

工芸村から約２キロの所にある、景勝地那谷寺に数名の生徒がスケッチに行きました。

ホテル　マイステイズキャッスル (座学研修)

今日から金沢連泊で研修を行います。

ホテル到着後　早速金沢駅の探検に出かけました。

金沢名物鼓門

お買い物

夕食

夕食後の研修会

◆３月 29 日　木曜日（3 日目）◆

金沢　東茶屋街（散策～卯辰山への道のり）

３日目の朝、路線バスで移動し東茶屋街にて散策を行いました。

古くから建てられているお茶屋が軒を連ねている街並みが広がっていて、情緒が感じられました。まだ朝早かったのでどの店も開いていなかったのが、少し残念でした。

金沢　卯辰山工芸工房　体験学習

東茶屋街から徒歩で工房へ移動、ほとんど登山に近い坂道を１５分かけて登り工房へ到着しました。卯辰山工芸工房では、染色・金工・蒔絵・絵付の４コースに分かれて体験学習を行いました。わずか２時間余りの体験でしたが、とても有意義なものになりました。

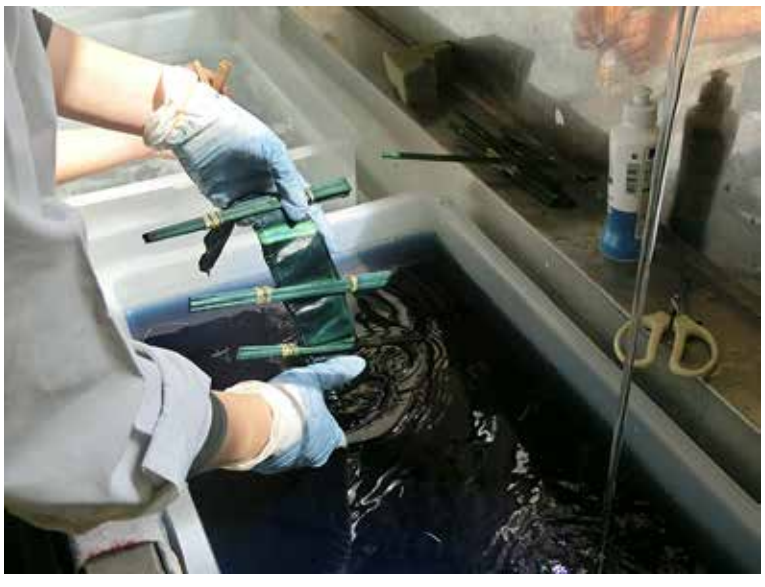
また、作品制作の指導だけでなく館内の設備や常設展示なども見せていただだくことができました。

九谷焼　絵付け体験

蒔絵体験

金工体験（真鍮スプーンの制作）

染色体験（藍染め / 絞り・板締め）

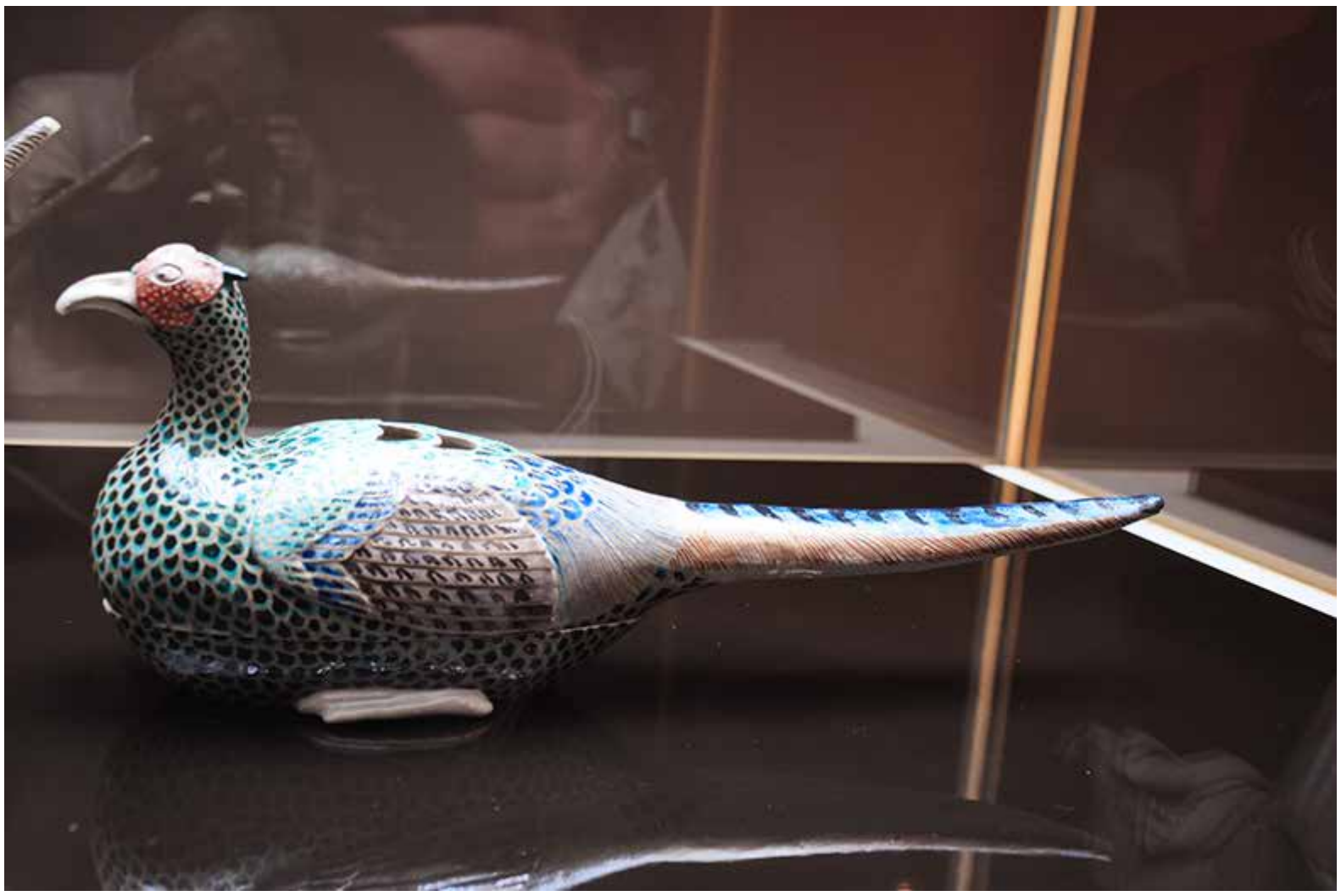


金沢　兼六園見学

　卯辰山工芸工房から徒歩で約３５分、金沢兼六園に到着しました。
兼六園の中にある奇観亭で昼食、その後園内を自由散策しました。
残念ながら桜はまだ咲いていませんでした。

石川県立美術館見学

　３日目の最後には石川県立美術館に行きました。美術館では、学芸員の方のギャラリートークを聞きながら鑑賞することが出来ました。
　石川県立美術館には、かの有名な野々村仁清が作った色絵雉香炉が展示してありました。色絵雉香炉にはオスのバージョンとメスのバージョンがあり、もともと二つとも別の場所で飾られていたのですが、この美術館で再会を果たしたそうです。運命的なお話ですね。この香炉以外は撮影禁止でしたが、他にもたくさんの歴史的な作品を見ることができました。



国宝

重要文化財

夜間研修　　先輩方の講演

　この日の夜に、金沢に住んでいらっしゃる創造表現コース出身の３名の先輩からお話を聞かせていただく機会がありました。将来について考える機会となるような、良いお話をたくさん聞かせてもらえただけでなく、実際に制作した作品や、ポートフォリオを見せてもらえてとても勉強になりました。

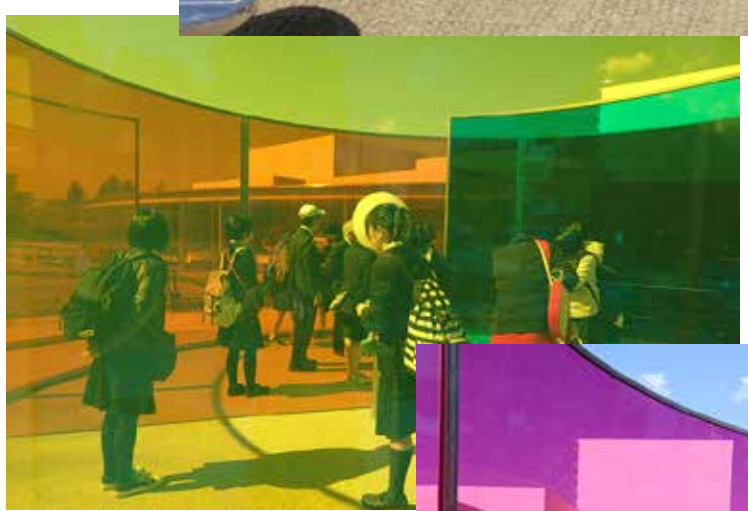
左から
60 回生（創表 8 期生）田中 若葉さん（卯辰山工芸工房研修員：漆芸）
60 回生（創表 8 期生）濱田 奏衣さん（ガラス工房勤務）
67 回生（創表 15 期生）宇都宮 未来さん（金沢美術工芸大学 2 年
：陶磁専攻）

右は宇都宮さんの作品

◆３月 30 日　金曜日（4 日目）◆

21 世紀美術館

４日目の最終日は金沢市の現代美術館である「２１世紀美術館」へ行きました。
この美術館では、入館する前から屋外の展示作品を楽しむことができます。
21 世紀美術館といえば、美術の教科書にも載っている、現代美術家であるレアンドロ・エルリッヒの「スイミング・プール」が思い浮かぶ方も多いのではないでしょうか。
「スイミング・プール」はプールサイド、プールの水中という２つの視点から鑑賞することができます。プールの水中を模している地下に入った人たちをプールサイドである地上から見ることによって、あたかもプールの底で人が立っているかのように見えます。逆に地下から地上の人たちを見ることでプールの底から地上の様子を覗くことができます。
常識的にはありえない光景を目にすることができて、とても貴重な体験となりました。視覚による鑑賞だけでなく実際に体を動かして楽しむこともできる作品でした。
またミュージアムショップで販売されているグッズはユニークで斬新なデザインのものが多くありました。普段目にすることのないような変わったものばかりで見ごたえがあり新たな感性に触れることができました。



終わりに

今回の研修は、普段なかなか触れることのできない場所や体験することのできない作品制作をするなど充実した４日間となりました。

広島と離れ、新たな場所へ訪れることで自分自身の感性に刺激を与え、視野を広げることもできました。今回研修を通して学んだことをこれからの作品制作にも生かしていきます。

（創造表現コース３年　岩﨑・河内）

Mikuni Kanko Hotel